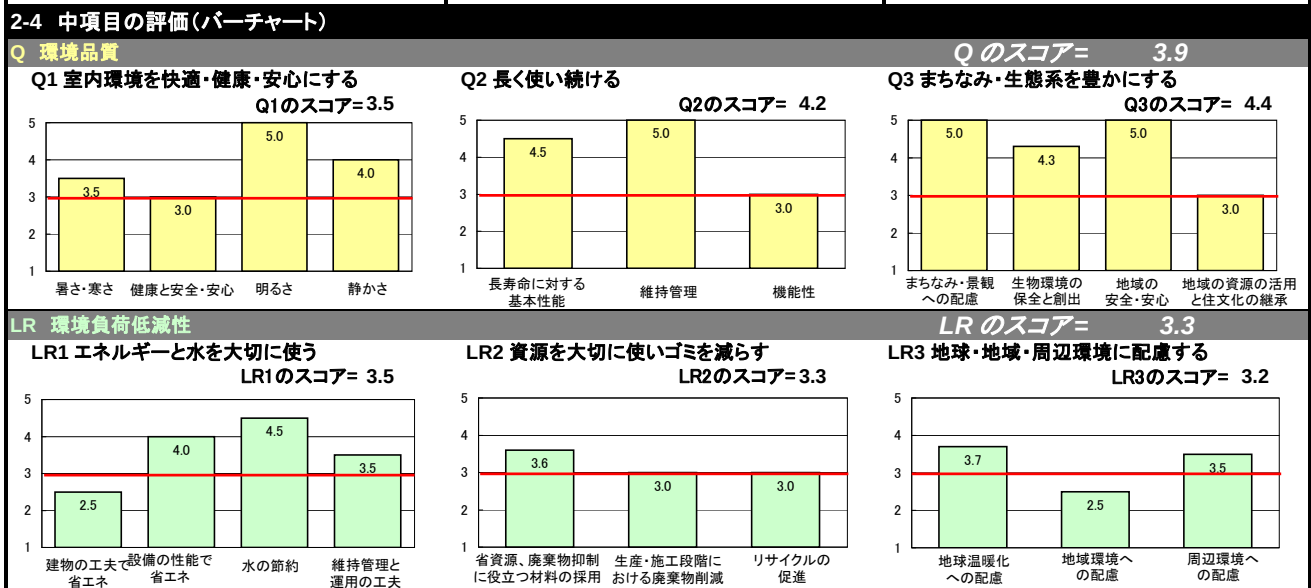
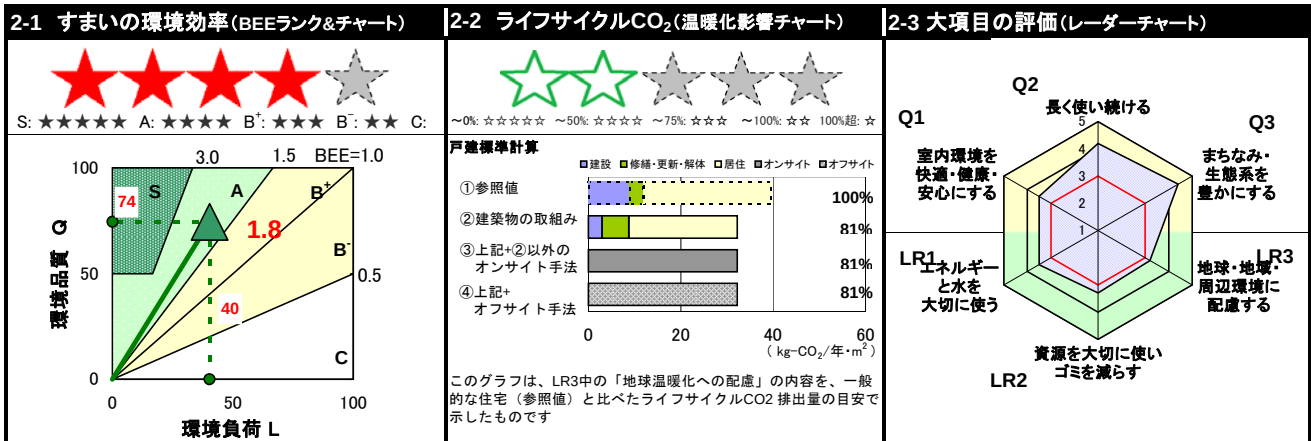


1-1 建物概要			1-2 外 観		
建物名称	イアプレイス岡崎駅西No.14		仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 確定
竣工年月	2014年2月	予定	外観パース等		
建設地	岡崎市針崎町字朱印地35-19				
用途地域	準工業地域	確定			
省エネルギー地域区分	IV				
構造・構法	木造・軸組構法	確定	評価の実施日 2013年8月19日 作成者 フジケン一級建築士 早川貴将 確認日 2013年8月21日 確認者 フジケン一級建築士 山本勝次		
階数	地上2F				
敷地面積	166 m ²	確定			
建築面積	60 m ²	確定			
延床面積	105 m ²				
世帯人数	4人	確定			



3 重点項目		
①地球温暖化への配慮	③敷地内の緑化	緑化面積の比率 緑化面積÷((1-指定建ぺい率)×敷地面積)
3.7	4.0	43.2 %
②資源の有効活用	④地域材の活用	地域性のある材料
3.7	1.0	三州瓦(外装材)
		地域で産出される木材資源

スコアシート		県独自 基準	重点 項目	具体的な取組一覧	評価点	重み 係数	全体
配慮項目							
Q すまいの環境品質							3.9
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする						0.45	3.5
1 暑さ・寒さ					3.5	0.50	3.5
1.1 基本性能					4.0	0.50	
1 断熱性能の確保				床下は押出法ポリスチレンフォーム、外壁・屋根はウレタン吹付断熱	4.0	0.65	
2 日射の調整機能				ガラスの日射侵入率42%	4.0	0.35	
1.2 夏の暑さを防ぐ					3.0	0.25	
1 風を取り込み、熱気を逃がす				LDK・主寝室に二方向の開閉部を設置(その他の居室は一方方向)	3.0	0.50	
2 適切な冷房計画				LDIに統一省エネラベル多段階評価2つ星以上のエアコン設置として仮定	3.0	0.50	
1.3 冬の寒さを防ぐ					3.0	0.25	
1 適切な暖房計画				LDKに床暖房を床面積の概ね7割に設置	3.0	1.00	
2 健康と安全・安心					3.0	0.30	3.0
2.1 化学汚染物質の対策				F☆☆☆☆の材料を使用	5.0	0.33	
2.2 適切な換気計画				キッチン・WC・浴室に換気扇設置	3.0	0.33	
2.3 犯罪に備える				シャッター・鍵付以外の窓で鍵の2ヶ所設置不可のものがある	1.0	0.33	
3 明るさ					5.0	0.10	5.0
3.1 昼光の利用				LDK・主寝室共に南面に掃き出し窓を設置	5.0	1.00	
4 静かさ				最も性能の低いサッシで遮音等級2	4.0	0.10	4.0
Q2 長く使い続ける					—	0.30	4.2
1 長寿命に対する基本性能					4.5	0.50	4.5
1.1 躯体				床下・小屋裏点検口の設置、床下空間の一定高さの確保	5.0	0.30	
1.2 外壁材				サイディング耐用年数は一般的な40年とし評価、通気金物使用で加点	4.0	0.10	
1.3 屋根材、陸屋根				耐用年数が最も良い瓦を採用。乾式工法による固定にて加点	4.0	0.10	
1.4 自然災害に耐える				制震装置GVAを採用しているため、レベル5とみなした	5.0	0.30	
1.5 火災に備える					3.7	0.20	
1 火災に耐える構造				外壁は30分防火構造、軒天は30分準耐火構造	3.0	0.65	
2 火災の早期感知				台所及びすべての居室に住宅用火災警報器設置	5.0	0.35	
2 維持管理					5.0	0.25	5.0
2.1 維持管理のしやすさ				給水ヘッダー方式を採用	5.0	0.65	
2.2 維持管理の計画・体制				半年・1年・2年点検実施・お客様相談室でのサポート体制有	5.0	0.35	
3 機能性					3.0	0.25	3.0
3.1 広さと間取り				各居室に通正な規模の収納スペースを設置した	4.0	0.50	
3.2 バリアフリー対応				特別な配慮はなし	2.0	0.50	
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする					—	0.25	4.4
1 まちなみ・景観への配慮				建物形状・外壁色・外構計画において10区画での統一感を出している	5.0	0.30	5.0
2 生物環境の創出					4.3	0.30	4.3
2.1 敷地内の緑化			③	高木・中木・低木をバランス良く配し、地被等で緑化面質を増やした	4.0	0.65	
2.2 生物の生息環境の確保				花や実を付ける木を植樹	5.0	0.35	
3 地域の安全・安心				オープン外構を採用し、防災性・防犯性共に有効な計画	5.0	0.20	5.0
4 地域の資源の活用と住文化の継承		●	④	—	3.0	0.20	3.0

LR	すまいの環境負荷低減性				-	-	3.3
LR1	エネルギーと水を大切に使う				-	0.35	3.5
1	建物の工夫で省エネ				2.5	0.35	2.5
1.1	建物の熱負荷抑制			床下はポリスチレンフォーム、屋根・外壁はウレタン吹付	4.0	0.50	
1.2	自然エネルギー利用			—	1.0	0.50	
2	設備の性能で省エネ				4.0	0.40	4.0
2.1	暖冷房設備				4.2	0.27	
1	暖房設備	●		潜熱回収型湯沸器による床暖房をLDに設置	5.0	0.80	
2	冷房設備			特に取組なし	1.0	0.20	
2.2	給湯設備				5.0	0.37	
1	給湯機器			潜熱回収湯沸器を採用	5.0	0.80	
2	浴槽の断熱			基礎断熱と浴槽断熱を採用	5.0	0.10	
3	節湯型機器及び給湯配管			キッチン水栓、洗面水栓共に節湯型の水栓を採用	5.0	0.10	
2.3	照明・家電・厨房機器			暖房便座とガスコンロは省エネ基準達成、その他評価せず	3.0	0.25	
2.4	換気設備			—	3.0	0.05	
2.5	エネルギー利用効率化設備				3.0	0.06	
1	家庭用コージェネレーションシステム			—	3.0	1.00	
2	太陽光発電システム			—	-	-	
3	水の節約				4.5	0.15	4.5
3.1	節水型設備			節水型設備を積極的に採用	5.0	0.75	
3.2	雨水の利用			取組なし	3.0	0.25	
4	維持管理と運用の工夫				3.5	0.10	3.5
4.1	住まい方の提示			設備毎の取扱説明書を添している	3.0	0.50	
4.2	エネルギーの管理と制御			給湯リモコンにてガスやお湯、CO2排出量、光熱費を数値で表示	4.0	0.50	
LR2	資源を大切に使いゴミを減らす				-	0.35	3.3
1	省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用				3.6	0.60	3.6
1.1	構造躯体				5.0	0.30	
1	木質系住宅			PEFC(森林認証プログラム)-CoCの規格に適合	5.0	1.00	
2	鉄骨系住宅			—	3.0	-	
3	コンクリート系住宅			—	3.0	-	
1.2	地盤補強材・地業・基礎			評価する取組なし	3.0	0.20	
1.3	外装材			ノボバンはリサイクル木材採用、フォームライト廃材はリサイクル可能	4.0	0.20	
1.4	内装材			下地材のプラスターボード以外の取組はなし	1.0	0.20	
1.5	外構材			リサイクル舗装ブロックを採用、古レンガ利用の花壇を採用	5.0	0.10	
2	生産・施工段階における廃棄物削減				3.0	0.30	3.0
2.1	生産段階(構造躯体用部材)			取組なし	3.0	0.33	
2.2	生産段階(構造躯体用以外の部材)			取組なし	3.0	0.33	
2.3	施工段階			取組なし	3.0	0.33	
3	リサイクルの促進				3.0	0.10	3.0
3.1	使用材料の情報提供			情報提供を行っていない	3.0	1.00	
LR3	地球・地域・周辺環境に配慮する				-	0.30	3.2
1	地球温暖化への配慮		①		3.7	0.33	3.7
2	地域環境への配慮				2.5	0.33	2.5
2.1	地域インフラの負荷抑制			雨水排水負荷の抑制の取組をしている	4.0	0.50	
2.2	既存の自然環境の保全			取組なし	1.0	0.50	
3	周辺環境への配慮				3.5	0.33	3.5
3.1	騒音・振動・排気・排熱の低減			防振のための適切な施工、隣接する建物の開口部付近に直接排気しないよう配慮	3.0	0.50	
3.2	周辺温熱環境の改善			敷地面積に対する緑化面積率43.18%	4.0	0.50	
■LR1	太陽光発電による補正後のランクとスコア						
2	設備の性能で省エネ				4.0	0.40	4.0
2.1	暖冷房設備				4.2	0.27	
1	暖房設備				5.0	0.80	
2	冷房設備				1.0	0.20	
2.2	給湯設備				5.0	0.37	
1	給湯機器				5.0	0.80	
2	浴槽の断熱				5.0	0.10	
3	節湯型機器及び給湯配管				5.0	0.10	
2.3	照明・家電・厨房機器				3.0	0.25	
2.4	換気設備				3.0	0.05	
2.5	エネルギー利用効率化設備				3.0	0.06	
1	家庭用コージェネレーションシステム				3.0	1.00	
2	太陽光発電システム				-	-	

重点項目スコアシート
ディスプレイ館 西No.14館

予定

■使用評価マニュアル:

CASBEE-あいち[戸建] (2011年度版)

■評価ソフト:

CASBEE_DH-NC_2011v1.1_aichi

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化への配慮				3.7
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.7	0.10	
② 資源の有効活用				3.7
Q2	長く使い続ける	4.2	0.30	
LR2	資源を大切に使いゴミを減らす	3.3	0.35	
③ 敷地内の緑化				4.0
Q3-2.1	敷地内の緑化	4.0	0.05	
④ 地域材の活用		(評価ポイント)		1.0
Q3-4	地域の資源の活用と住文化の継承	1.0	0.05	

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用

重点項目スコア=
$$\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{重みの総和}}$$

④地域材の活用

重点項目スコア=(No.3.4.5のポイント数+2)

※0ポイントの場合は1

設計上の配慮事項	
総合	●周辺地域との調和をはかる計画とした●省エネルギー、省資源により環境に配慮し、地球環境負荷の低減に取り組むようにした
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする	●換気・通風・日射熱調整の配慮
Q2 長く使い続ける	●地盤調査に基づく安全な基礎方式と形状の検討●外壁通気工法、連続的な断熱区画、防湿シートの設置による躯体の高耐久化●制震装置QVAを採用
Q3 まちなみ・生態系を豊かにする	●周辺との調和をはかり、緑化につとめた
LR1 エネルギーと水を大切に使う	●建物の省エネルギー対策に加え、設備の機能面での省エネルギー設備を採用●照明ランプは極力蛍光灯タイプ(電球色)のものを採用●外部の照明は寿命の長い製品を採用
LR2 資源を大切に使いゴミを減らす	●ノボパンはリサイクル木材を使用
LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する	●雨水浸透設備を採用●植栽による冷気溜り(クールスポット)を道路側に配した
その他	